

センセイコール(7)

10) 文章がちぎれた、空行が挟まった

操作は、Enterキーを押したことによります。その時の、文字入力カーソル(点滅する縦棒)の位置が問題です。

パソコンは、いろいろなことを同時にこなしているように見えますが、実は、やはり厳密に、一度に一つのことだけを実行しています。

その時に操作したことが、どこに反映するかは、画面をよく見ると分かります。特に、キーボードからの操作は、必ず、アクティブウィンドウに対して機能します。文字入力なら、アクティブウィンドウに文字入力カーソル位置が表示されていて、その位置になります。

つまり、Enterキーを押した(改行した)ら、その時に縦棒のある場所に改行マークが入ります。行の途中ならそこで文が「ちぎれ」て、そこから後ろは次の行に送られ、すでに改行マークのある箇所なら1行の空行が挟まります。

パソコンで作業するときには、画面をよく見ることがとても大切です。

パソコンが、その時点で「何を待って」いるのかをいつも意識しましょう。

ポイントは、アクティブウィンドウです。画面に一つしかアプリケーションウィンドウがなくても、その時タイトルバー(ウィンドウの最上部の青いところ)の色が薄ければ、キーボード操作は反映されません。文字入力カーソルが点滅できるのは、アクティブウィンドウの中です。

文字入力で、最終行の次の行にいきたくてEnterキーを押したとき、入力している人が「目で」最終行を見て次にいくつもりでも、カーソルが他の位置にあれば、パソコンはそのカーソル位置「だけ」を見ているので、入力している人の「思った」通りには動きません。

もし、意図したように動かなかったら、「元に戻す」(Ctrl+Z)です。ほとんどすべての場合に元に戻すことができます。また、文書末に一発で移動するには、Ctrl+Endです。ワードでも一太郎でも、他の文字入力のどんな場合でもたいてい使えます。

そして、自分が「どこに」「何を」しようとしているのかを常に考えて、画面と見比べて正しく操作が反映するかを注意します。アクティブウィンドウと、カーソル位置を意識するようにできれば、まず大丈夫です。

これを元に戻すには、入力したばかりの改行マークを Backspace キーで消せばいいのです。